



毒

果全直



Small vertical text on the left edge of the page.

Handwritten text in vertical columns, likely a list or index. The characters are in a cursive style, possibly Manchu or Mongolian script. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left.

Handwritten text in vertical columns, continuing the list or index. The characters are in a cursive style, possibly Manchu or Mongolian script. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left.

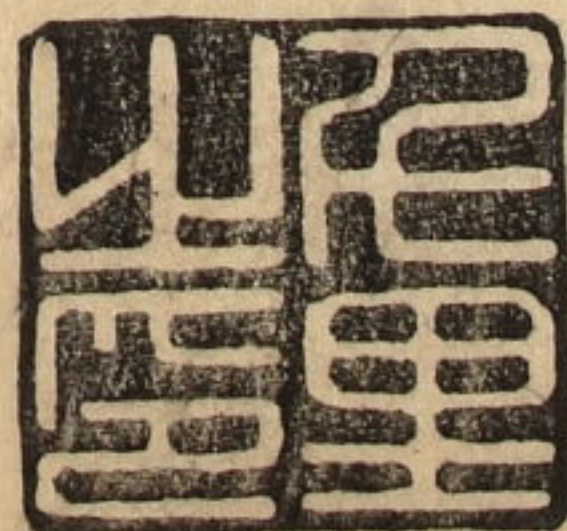
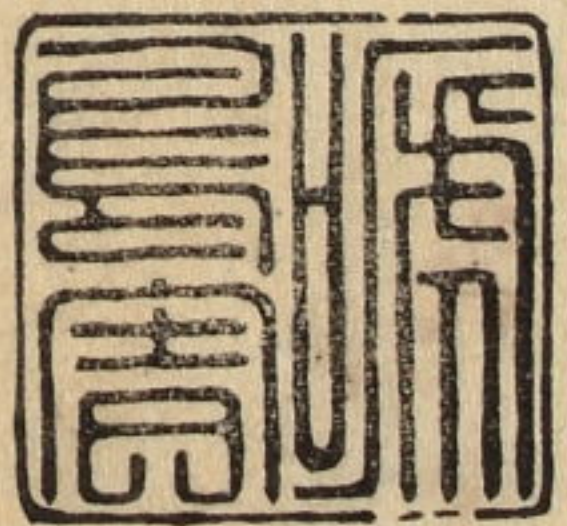


Handwritten characters, possibly a signature or a date, located below the seal.

巻の二 擧げしつゝのしるし不可思議の天物  
ふしつらんこれ梅と伴えをあらわすよ  
ふしつらん

寛政十二己未歲二月

常子 印



まにまに

源氏行

印

~~~~~

~~~~~ 小里

~~~~~ 横七方

~~~~~ 四巻

~~~~~ 一

~~~~~ 鳥林

う  
るまゝの帯に帯の目 武備和 竹葉

花の思ふまじ 全 生有

吸着のほを 全 波也

鶴とた 全 指月

さ 全 古也

井 武備和 文也

あ 武備和 雨為

二 全 桑を

あ 全 吾也

之味 全 有徳

あ 全 之也

流 武備和 如也

三 武備和 秋

井 全 葛路

孝行 全 百哉

後 武備和 思也



美清心ちも 稀ふぬ美の院 吹風

ひんふ〜〜〜  
玄佳

くはら〜ものほせれふ〜  
松志

さゆ〜  
松二

多〜  
戸

ら〜  
藤二

別當〜  
兔野

〜  
鳥白

〜  
一松

牛の〜  
止致

〜  
麦里

〜  
町

〜  
里

〜  
巴陵

〜  
板井

〜  
二扇

さし〜さ〜さ〜く〜く〜く〜 芦吹

窟も各の〜〜〜さ〜さ〜坂 眞例

祖又〜〜〜〜〜  
武系塚 樹士

今の裁許れは善悪〜 賈

〜〜〜く〜〜〜あ〜の〜と〜実〜 坊

ま〜〜〜く〜〜〜柳連を 一

各派

東起

秋の色一刑をき〜〜お〜れ 幸路

ろ〜よ〜〜るの〜る〜居れ〜ら〜ら 再花

〜〜〜  
〜〜〜か〜〜〜は〜〜〜か松の音 冬雨

〜〜〜  
〜〜〜目〜〜〜か〜〜〜お〜〜〜 吹凡

〜〜〜  
〜〜〜入〜〜〜お〜〜〜〜〜〜〜 本菱

右投〜〜〜  
〜〜〜〜〜〜〜あ〜〜〜お〜〜〜 如白

右〜〜〜  
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜 其書



~~~~~  
政<sup>六</sup>之<sup>四</sup>部

~~~~~  
眠<sup>六</sup>柳

~~~~~  
連<sup>六</sup>路

~~~~~  
尋<sup>六</sup>世

~~~~~  
都<sup>六</sup>邑

~~~~~  
露<sup>六</sup>羽

~~~~~  
夕<sup>六</sup>甲

~~~~~  
柳<sup>六</sup>糸

~~~~~  
梅<sup>六</sup>之

~~~~~  
子<sup>六</sup>系

~~~~~  
古<sup>六</sup>松

~~~~~  
吾<sup>六</sup>井

~~~~~  
也<sup>六</sup>是

~~~~~  
榎<sup>六</sup>之<sup>十</sup>坊

~~~~~  
夏<sup>六</sup>之<sup>十</sup>木



牛のよかたしひびきも響くかみ  
 むかしうきかたしひびきも響くかみ  
 ちかきうきかたしひびきも響くかみ  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ  
 ちかきうきかたしひびきも響くかみ  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ  
 ちかきうきかたしひびきも響くかみ  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ  
 ちかきうきかたしひびきも響くかみ  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ

橋小まじちりりー 仲るや大解講 又 秋  
 ちかきうきかたしひびきも響くかみ 岳 林  
 あ〜〜〜〜〜 ちかきうきかたしひびきも響くかみ 春 麦  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ 一 松  
 橋のちかきうきかたしひびきも響くかみ 葛 路  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ 土 也  
 早蕨やちかきうきかたしひびきも響くかみ 春 乃  
 ひびきうきかたしひびきも響くかみ 小 里

ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら  
 ちのうらたて 紙のうら

涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲  
 涼風とる人々もふ 扇子の甲

100

101



~~~~~  
~~~~~

大なる木連

五

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

松  
木  
乃  
鳥  
全

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

花  
愛  
結  
夕  
桑  
心  
似  
松











出羽

新庄連 交古坊  
 杉子  
 瑞  
 文  
 臺  
 侯  
 家

中  
 出  
 松  
 柳  
 藤  
 竹  
 文  
 先



一 万カ

女

市川 杜象

石和 之 羅

桂橋 子 雨

相模

大館 河 川

佐中 門 路

多 川

上 野

小 園

二

鳥 白

川

地

信 濃

34 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 約 卜 終 二 二 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 相模女 の 袴 けしき ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 色

播磨

41 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 遠 伝 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 響 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 仙 里

42 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ね ね ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 吐 涼

佐賀

43 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか

豊後

木立のくさくさ研くもわきの木ちん古き  
折くも木の葉あり木下かき 独り  
松の葉もまじりてあつこも ち柳  
ささげの葉もまじりてあつこも 登柳  
陽ちかき葉のしるあつこも 登のり石

石

石のくさくさ研くもわきの木ちん古き  
折くも木の葉あり木下かき 独り  
松の葉もまじりてあつこも ち柳  
ささげの葉もまじりてあつこも 登柳  
陽ちかき葉のしるあつこも 登のり石

石のくさくさ研くもわきの木ちん古き  
折くも木の葉あり木下かき 独り  
松の葉もまじりてあつこも ち柳  
ささげの葉もまじりてあつこも 登柳  
陽ちかき葉のしるあつこも 登のり石





子 葉 方 形 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米

ト 緑 丘 倉 町

松 葉

葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米

葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米  
葉 長 約 10 釐 米 葉 縁 鋸 歯 状 葉 長 約 10 釐 米

あはれ〜のまゝかたは新々全久徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

あはれかたはのまゝ〜橋本大徳 河内

負外

後より新しく臭くや梅の風 きよ小倉 所為

と桶のくけく柳の一より 清信大入 大坊

けいさく 出雲屋橋 乙馬

順れし 松津二家 乙馬

あし 全大板 乙馬

とく 加賀金屋 乙馬

とく 乙馬 乙馬

一々の葉 東氏 乙馬

葉 長山 乙馬

葉 新方 乙馬

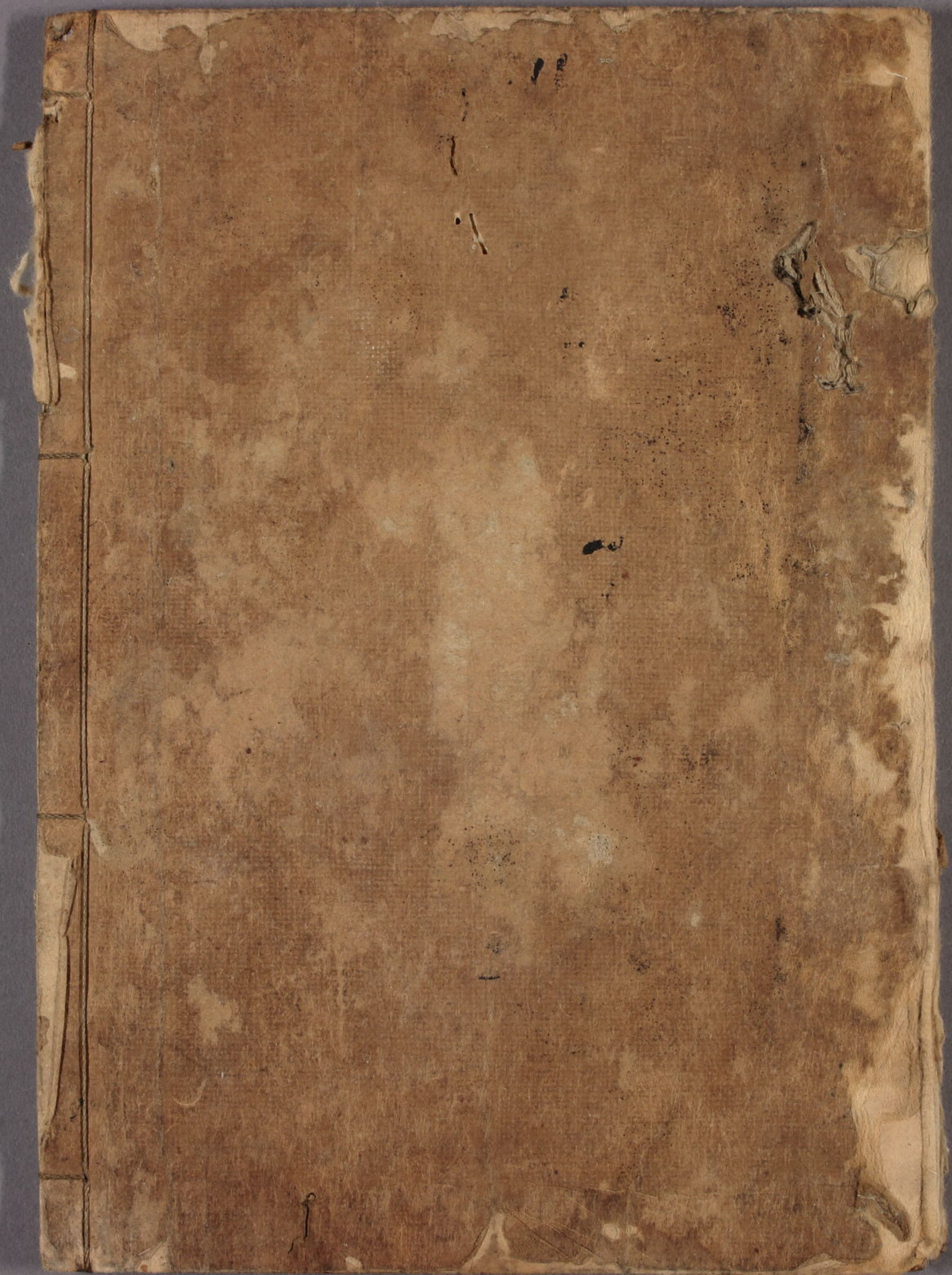
葉 出羽 乙馬

乙馬

乙馬

乙馬

東寺町二条  
橋本治玄清板



橫和村

田之  
之  
冊

字  
作  
子  
作  
產  
部